

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 国際社会	国際機構論	井上尹	2 年次	秋

授業のキーワード	リージョナリズム（地域主義）を知る。
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	現代国際政治の動向は、グローバリズム、リージョナリズム、ナショナリズムになっている。その中でリージョナリズムを取り上げ、現状を紹介し、将来を展望する。特に、EU、APEC、ASEAN のほか近年日本が推進している東アジア共同体等を扱う。ただし、国際機構論として UN、OECD、WTO も扱う。
履修のアドバイス・ 前提科目等	グローバリズムは国際関係論、リージョナリズムは国際機構論、ナショナリズムは民族と国家でそれぞれ対応して扱っている。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	国際連合① (UN)	UN の目的と仕組み	第 9 講	アジア太平洋経済協力会議②	APEC の発展と展望
第 2 講	国際連合② (UN)	国連改革と日本の立場	第 10 講	経済協力開発機構 (OECD) ①	OECD の目的と仕組み
第 3 講	リージョナリズム	現代世界のリージョナリズム	第 11 講	経済協力開発機構 (OECD) ②	OECD の課題と展望
第 4 講	ヨーロッパ連合 (EU) ①	EU の歴史と仕組み	第 12 講	世界貿易機構 (WTO) ①	WTO の目的と歴史
第 5 講	ヨーロッパ連合 (EU) ②	EU の課題(共通通貨、農業政策、加盟国拡大等)	第 13 講	世界貿易機構 (WTO) ②	WTO の課題と展望
第 6 講	東南アジア諸国連合 (ASEAN) ①	ASEAN の目的と歴史	第 14 講	東アジア共同体	日本の発案とその構想およびアジア諸国の反応
第 7 講	東南アジア諸国連合 (ASEAN) ②	ASEAN の組織と課題	第 15 講	定期試験	
第 8 講	アジア太平洋経済協力会議 (APEC) ①	APEC の目的と歴史	評 価 方 法		定期試験等による評価
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
その都度資料を渡します。					